



JIMBOCHO COFFEE

- TOP プロジェクトについて ブログ 神保町発、明治大学SDGsコーヒー コーヒーと神保町のおすすめ本
神保町のカフェ 神保町コーヒーMAP お問い合わせ

掲載誌

あるまっぷ5月号で神保町コーヒープロジェクトを紹介いただきました

あるまっぷ5月号に鳥田ゼミの活動を見開き4ページで掲載いただきました。ありがとうございます。

まちづくりの活動は新型コロナの影響もありまだこれからですが、ご支援いただければうれしいです。

こうした出会いの場を提供していただけた「千代田コミュニティラボ」にも感謝しています。

[こちら](#)からデジタル版でも読んでいただくことができます👉

千代田区観光協会や半蔵門駅などの東京メトロの駅で配布されるとのことです。ぜひ手に取っていただければ幸いです。

Search

最近の投稿

WHO（世界保健機関）事務局長補の山本尚子氏にお話をお伺いしました

明治大学のホームページで「3分の1のパン屋さん」を取り上げていただきました

「サステイナブル コーヒーで世界を変える」 José. 川島 良彰氏インタビュー

知られざるアフリカの妊産婦事情 — 藤田由布医師のニジェル体験記

ハフポストに記事が掲載されました！「明大生が一夜だけ開店した『3分の1パン屋さん』。店名に込めた『食品ロス』の2つの問題」

最近のコメント

新着記事



WHO（世界保健機関）事務局長補の山本尚子氏にお話をお伺いしました



明治大学のホームページで「3分の1のパン屋さん」を取り上げていただきました



「サステイナブル コーヒーで世界を変える」 José. 川島 良彰氏インタビュー



知られざるアフリカの妊産婦事情 — 藤田由布医師のニジェル

Vol.12 2021 May

すれ違いぎわに「こんにちは」と挨拶できる街へ

あるまっぷ

ARMap

千代の丘



エール体験記



ハフポストに記事が掲載されました！「明大生が一夜だけ開店した『3分の1パン屋さん』。店名に込めた『食品ロス』の2つの問題」

アーカイブ

2021年10月

2021年9月

2021年8月

2021年7月

2021年6月

2021年4月

2021年3月

2021年2月

2021年1月

2020年12月

2020年11月

2020年10月

2020年9月

カテゴリー

インタビュー

ニュース

分析

掲載誌

メタ情報

ログイン

投稿フィード

コメントフィード

WordPress.org



今回は、明治大学情報コミュニケーション学部の通称「島田ゼミ」から、島田先生、ゼミ生の中山さん、田口さんに取材させていただきました。

島田ゼミでは、昨年のコロナ禍において、コロンビアで現地の障がい者が作るコーヒー豆を、神保町に本社のある株式会社ミカフェート代表取締役の川島良彰さんにご協力のもと、「明治大学SDGsコーヒー（以下SDGsコーヒー）」として企画し、販売しています。学生たちはフェアトレード商品の開発や販売を通して、国際的な経済のあり方を学んでいます。ちなみに、今年一月に販売を開始して、約一週間で完売したんだとか！（現在は再販中）

また、Think Globally, Act Locallyの実践として、キャンパスのある神保町で「神保町コーヒープロジェクト」も始動。コーヒーを起点に、学生たちがこれからどのような活動をしていくのか、あるまじぶも大注目です！



◇島田ゼミはどんなゼミ？

中山さん：島田ゼミは私がちょうど入学した年にできた国際系のゼミです。当時シラバスで見つけた瞬間に、私がやりたいことはこれだと確信して、島田ゼミに入りました。島田ゼミに所属しながら、現地を知るためにカンボジアなどにも行きました。

田口さん：私が国際協力で興味を持ったきっかけは、中学高校の英語の授業で読んだSDGsに関する長文です。その時から、日本に住む私はとても幸せだけれど、一步海外に出たら違う状況なのではと考えるようになりました。島田ゼミに入り、二年生の時には環境や教育など色々な角度からケニアについて学びました。三年生から本格的にゼミが始まり、最終的には「SDGsコーヒー」が形として残りました。



海外から有名な教授を招いて
ゲスト講師をしていただくことも。

「フェア」な考え方と商品を広める

◇「明治大学SDGsコーヒー」のコンセプトは「いいコーヒーにはいい〇〇」。

皆さんの考える〇〇はなんですか？

田口さん：元々は、貧困の解決には適正価格をつけるのが大事じゃないか、ということで、「いいコーヒーにはいい値段」というコンセプトをつけていました。ですが、それだと金額だけの話になってしまうという指摘を先生から受けたんです。じゃあもっといろんな要素を入れるためにはどうしたら良いかと考えていたら、ゼミ生の中のひとりが「〇〇が いいんじゃない？」とってくれて、確かにそれならいろんな想いを込められるなと思いました。〇〇に入るのは「環境」だったり、生産者だけでなく消費者にも嬉しいコーヒーを意識した「味」や「質」だったり。双方ともに豊かな生活が送れるようなコーヒーを発信していきたいなという想いで、このコンセプトにしました。

中山さん：あとは「関係」ですね。安定した取引価格を定めることで生産者の生活が安定し、消費者も質のいいものを安定して手に入れることができる、こういった形をつくるには、まずは良い関係性が不可欠だと思います。実はこれが今の大きな課題です。私たちはまだコロンビアの現地の方にもお会いしたことがないですし、実際にどんな生活をしていて、どんな支援が必要なのかというのがまだわかっていないんです。これからもっと理解を深めて、良い関係づくりをしていきたいですね。

島田先生：「SDGsコーヒー」の売り上げは現地への支援に使います。お金をどう使うのか、どう支援するのかということをもっと具体的に考えないといけない時期に来てますね。人を助けるのって難しいですよ。親切の押し付けになってもいけないですし、本当に必要とされていることは何かを深く考えなければいけません。

中山さん：そうすね。「SDGsコーヒー」が完成して追加発送でまたの仕入れいびつてくるんですけど、去年